

発行：北部農林水産振興センター
農業改良普及課
住所：沖縄県名護市大南1-13-11
電話：0980-52-2752
FAX：0980-51-1013

ちむ美らさ

目次	3P	・土壤検診週間
1P	・課長あいさつ	・マンゴーの品質向上
	・体制図	4P
2P	・セグロウミハエ緊急防除	・転入者あいさつ
		・新規就農講座案内

北部地区の農業振興及び農村の活性化を目指して

北部地域は県農業産出額の31.8%を占める農業地域となっています。地域の農林水産業は農産物の生産に加え、県土の保全、地域社会の活性化等を担っており、新規就農者や担い手の育成・確保及び産地の育成等、重要課題が多岐に渡っています。このような課題の多様化、高度化に伴い研究機関や市町村、農業団体等と連携し、課題と対象の重点化を図りつつ直接農業者に接して、農業者の技術や経営能力の向上を図り、拠点産地の育成及びこれを担う優れた農業者の育成確保を目指して普及活動を展開していきます。

具体的には、下記の4つの活動方針を柱に、直接農業者に接して、技術・経営支援などを重点的に展開してまいります。



農業改良普及課
ながどう よしたか
課長 長堂 嘉孝

1. 担い手の育成・確保と経営力の強化

新規就農者や認定農業者の技術・経営改善、農業青年クラブや農業士等組織活動の充実強化、女性農業者の経営参画促進などの取り組みを支援します。

2. おきなわブランドの産地育成と生産体制の支援

亜熱帯気候等の本県の優位性を活かし、高品質で安全・安心な農産物を消費者や市場に定時、定量、定品質で供給することにより、おきなわブランドの確立と産地形成を支援します。

3. 環境に配慮した持続可能な農業生産

農業の持続的な生産活動のため、適正施肥技術、減農薬・減化学肥料栽培等の環境負荷の低減技術推進を通して、エコファーマー、特別栽培農産物認証GAPを推進します。

4. 魅力と活力ある農村の振興

農村の地域づくりを推進する農業者や活動組織等の地域リーダーの育成・確保を推進するとともに、産地育成に適した農業振興による地域の活性化を図っていきます。

これら方針の推進にあたっては、生産農家をはじめ、市町村、JAなどの関係機関・団体と密接に連携し取り組む所存でありますので、関係者の皆さまには今後とも普及事業へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。
(北部・農業改良普及課長 長堂嘉孝)

令和7年度
北部農林水産振興センター
農業改良普及課

課長

★長堂 嘉孝

普及企画班

班長 ★宮城 徳道
主幹 ★富山 あずさ

地域調整 ★宮城 徳道
農業経営 諸喜田 吉輝
担い手 ★富山 あずさ、座喜味 利将、儀間 宏美
地域営農 ★島袋 律子
庶務 安仁屋 恵

地域特産振興班

班長 ★内藤 孝

作物 與座 朝成
工芸作物 ★上原 理
畜産 ★平良 祥
農産物活用 高橋 さおり(臨任)

園芸技術普及班

班長 上原 弘樹

野菜 栗田 夏子、上原 弘樹、●平良 栄暉
●岩本 由美
花き 新里 寿順、●富名腰 早那恵、森 龍哉
果樹 伊波 聡、光部 史将、幸地 利輝

伊江村駐在 嘉数 怜
伊是名村駐在 桑江 良太
伊平屋村駐在 ●譜久嶺 雄人

★:R7年度転入者
●:R7年度課内異動者



海外からの侵入害虫

セグロウリミバエ 緊急防除に関して

体長
8~9
mm

セグロウリミバエ

生産者の皆様へのおねがい

- ①緊急防除の対象作物を栽培している方のうち、少しでも沖縄本島外へ移動の可能性のある方は、すみやかに**移動検査申請**を行ってください

※申請窓口は主な圃場のある市町村となります。

- ②施設栽培では、防虫ネットのメンテナンスや入口の二重カーテン等で虫の侵入を防ぎましょう
(他の病害虫の防除にもつながります)

ネットの目合いは
2mm以下

- ③栽培の終了した作物は、速やかに片づけましょう
放置された果実からも多くの幼虫や蛹が見つかっています！

- ④不要な果実は集めて埋設するか、ビニール袋に入れて密閉し虫を死滅させるなどして、虫の侵入拡大を防ぎましょう

- ⑤適切な薬剤防除により虫の侵入を防ぎましょう

★植物防疫法に基づき散布できる農薬のリストがあります。(侵入地域に限る)

※下記 沖縄県営農支援課HP参照



- ⑥もし果実の中にウジ(幼虫)を見つけたら、すぐに下記にご連絡ください



寄生する果実

ウリ類(ゴーヤー・ヘチマ・モーウイ・かぼちゃ・スイカ・メロン・トウガン・きゅうりなど)、ピーマン、トマト、パッションフルーツ、パパイヤ、グワバ、ドラゴンフルーツ その他

連絡先

▶沖縄県病害虫防除技術センター : 098-886-3880

▶北部農林水産振興センター農業改良普及課 : 0980-52-2752

↓セグロウリミバエに関する最新情報はこちら↓

沖縄県営農支援課HP



セグロウリミバエのまん延防止対策
・セグロウリミバエの防除に
使用できる農薬リスト
・移動検査申請書様式・梱包例等

沖縄県病害虫防除技術センターHP

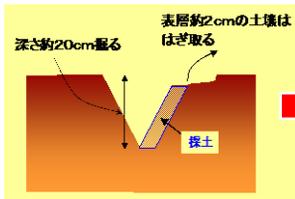


セグロウリミバエの
トラップ誘殺及び
寄生果の確認状況について
(約2週間に1度更新)

令和7年度「土壌検診週間」について

今年度も北部地区土づくり運動推進協議会で、「土壌検診週間」にて土壌分析を実施する予定です。分析項目は、**PH・EC**のみとなります。サンプル提出締め切り日は**6月6日(金)**までとなります。ご希望の方は、以下のように土壌サンプルを採取し、申請書を添付の上お申し込みください。

①土壌採取の仕方



表層を1～2cm（果樹は5cm）、はぎ取ってから、深さ約20cmV字型に掘ります。それから穴の斜面に沿って、一定の厚さを掘り取ります。

②土壌の乾燥



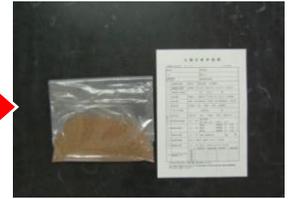
採取した土を細かくほぐし、新聞紙の上に土を広げます。雨に濡れない風通しの良いところで約1週間乾燥を行います。

③土壌の粉碎



小石や根などを取り除き、ピンなどで土壌を細かくします。土壌粒子が約2mm以下になるまで粉碎しましょう！（ネットなどでふるう）

④土壌の提出



粉碎したら、土壌約300g（お茶碗1杯程度）をポリビニールに入れ、申請書を添付して提出してください。また袋にも名前、畑名を記入してください。ポリビニールの中に申請書と土壌を一緒に入れないよう注意してください！



注意

- ・正確な分析のため土壌に堆肥、化成肥料、作物残渣が混ざらないようにしてください。
- ・湿った土壌、粉碎されていない土壌は分析できません(受付できません)。

(担当:森)

5、6月は、マンゴーの果実品質の向上に努めましょう！

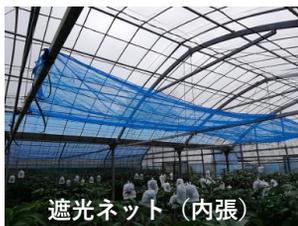
5～8月は気温が高く、マンゴーの日焼け果のリスクが高まります。果実の日焼け防止、病害虫からの保護を目的に袋がけを行いましょう。



日焼け果は気温が上がる**午後**、**梅雨明けの極端な高温(30℃以上)**、**高湿度・無風**などの条件で発生しやすくなります。

対策として、**袋がけ**、**遮光ネットの設置**、**ハウス内の換気**、**こまめなかん水**を実施しましょう。

<日焼け果防止の対策事例>



袋がけにより、**果実表面温度の上昇を抑え**、日焼け果の発生を防止することが期待できる

(担当:幸地)

新規就農講座 について

北部地区の市町村、生産組織、普及課が構成員である“北部地区農でグッジョブ推進会議”では、青年農業者資質向上のための「新規就農講座」を開催しています。

受講対象者

北部管内で就農している認定新規就農者、就農支援関連事業^{※1}の受益者
就農5年未満の新規就農者、かつ、講座未受講者で全10回受講できる者

※1 新規畑人資金支援事業(就農準備資金、経営開始資金)、経営発展支援事業
農業次世代人材投資事業(準備型、開始型)新規就農一貫支援事業
農業後継者育成確保事業や市町村・農業関係団体が実施している各種研修事業の研修生等

開催期間と内容

令和7年 7月～11月

- ①農家講話とミニ交流会 ②土づくり、病害虫と農薬使用、環境にやさしい農業
③野菜の基礎 ④さとうきび・甘藷・畜産・6次化の基礎 ⑤果樹・花きの基礎
⑦農作業安全と機械実習 ⑧農業経営の基礎 ⑨市場の仕組みと事例紹介
⑥⑩現地視察(農家圃場等) 全10回

開催場所

沖縄県北部合同庁舎1階農業改良普及課会議室(離島のみ、座学のZoom参加可能)・現地

定員

20名 (離島のZoom参加者は別枠で座学のみ受講可能)

受講料

無料 ※但し、講座期間中の交通費等の受講に際し必要な経費は受講生の自己負担

申込方法と申込書提出〆切

各市町村の農政窓口で受付、
令和7年5月末～6月20日(金)〆切

(担当：儀間・富山・座喜味)

